



今日で8月も終わりになります。夏休み明け行事（学級対抗・課題テスト）も終わり、ようやく通常の2学期がスタートしました。学期の境目で皆さんに話した内容などを、ここに記すことで再確認したいと思います。

◇2学期始業式での話題から

始業式では毎回必ず話していますが「環境の変わり目は意識を変える絶好のチャンス」です。年間で最も長い学期となる2学期だからこそ、1日1日をどう過ごすかで、その積み重ねの差は大きくなってしまいます。「自分はどう在りたい」のかをしっかりと確認し、「そのためにどうするかを意識して行動する」ことをちゃんとしないと、ついつい日々の生活に流されてしまうことになりかねません。

秋田魁新聞のコラム欄「きょうの言葉」に、第264代ローマ教皇のヨハネ・パウロ2世の次のような言葉が載っていました。「未来は今日始まります。明日始まるのではありません。」

これについてコラムでは次のように紹介していました。

私たちは「今」を生きているが、それは、「楽しかった過去」や「つらかった過去」などが様々に重なり合った「過去」の延長上にある「今」だということ。

過去を通らない今がないように、未来は今この瞬間から始まる。

確実なのは、「自分の未来」は「自分の今」によって作られるということだ。

今ではいろいろな番組で活躍している予備校講師の林修先生が「いつやるの？…今でしょ！」と言って話題になってからもう5年ほど過ぎましたが、これも同じ発想だと言えるでしょう。未来の自分に対して、責任ある「今」を大事に過ごしてもらいたいと思います。

◇2学期の成長を期待～キャリア教育 CAN DO LIST 調査結果をふまえ

先週本校PTA役員と一緒に、全国高等学校PTA連合会大会静岡大会に参加してきました。この大会のメインテーマは、開催県の静岡県で取り組んでいる「有徳の人づくり」でした。

「有徳の人」とは、個人として自立した人、人との関わり合いを大切に人、より良い社会づくりに参画し、行動する人を意味するようです。まさにキャリア教育そのものと言えます。

本校では学校全体で取り組むキャリア教育の一環として、身に付けてほしい力を一覧にして「キャリア教育CAN DO LIST」を作っています。「対人関係能力」「課題解決能力」「自己調整能力」「キャリア形成能力」の4つに分類し、細分化した具体的項目を挙げ、それが「できるようになる」ことで皆さんの「生きる力」を育むことを目標としています。

4月の調査結果からは、「規則を守る、協力しながらやる」ことはできるが、「自分の意見をはっきり述べるのが苦手」だったり、「自分がどんな事に興味・関心があるか」分かっているけれど、「自分の良さを伸ばそう」としたり「計画的に物事に取り組むのが苦手」な状況が見えています。これらの課題を意識して克服することが、皆さんの「生きる力」を高めます。

普段の授業や学校行事の中には、自分の意見をしっかりと述べたり、他者の意見に耳を傾けたりして他者との関わり合いで物事を進めたり、計画的に進めないとなん一つ決まらないような場面が沢山あります。矢高祭のテーマも決まり、成功に向けて準備も徐々に本格化していきます。3年生は進路決定に向けて、2年生は修学旅行の企画、1年生はコース選択など、各学年ごとに取り組むべき内容があります。それらの活動を通して、是非、今より一段階成長した自分になれるよう、頑張ってもらいたいと思います。

